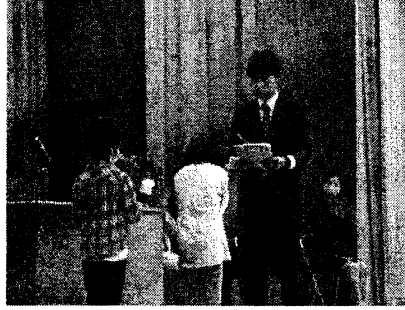


5月の子どもたちの活動の様子 「なかひが百景」

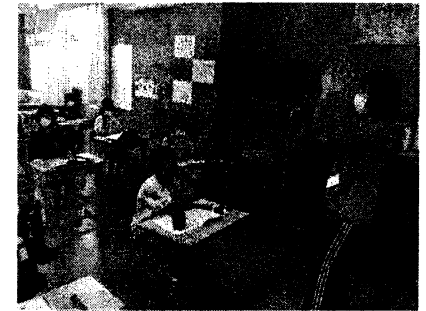
○4月28日 《離任式》

昨年度末に本校を離れて新しい勤務地に異動された先生方の離任式を行いました。メッセージを伝える児童の中には涙ぐんでしまう児童もいました。でも、人生に別れはつきもの。ここからの新しいスタートが離任された先生方にとっても、なかひがの児童にとっても素晴らしいものであることを願っています。



○《授業の様子》

なかひがの児童は、よく話し合い活動に参加しています。これはとてもいいことですね。授業にも集中しています。先生たちも一生懸命に取り組んでいます。



自転車乗車時の「ヘルメット着用」が努力義務化されました

※警視庁のHPより

今年4月、自転車乗車中のヘルメットの着用が努力義務化されました。右の資料でもわかるように「自転車乗車中の死亡事故」の負傷部位は「頭部」が56%です。またヘルメットの着用と非着用では致死率が2倍以上異なります。

確かに今までしていなかったモノを新たにすることは「面倒だな～」と感じることは理解できません。このことは車のシートベルトについても同じですね。1987年に運転席と助手席でのシートベルト着用が義務化されて減点対象となりました。当時、「めんどくさいな～」と私も思いました。が、今では、しないと“気持ち悪い”と感じるくらい当たり前になりました。その結果はどうでしょう？

現在、自動車乗車中のシートベルト着用有無別の致死率をみると、非着用者の致死率は着用者の0.16%に対して14.3倍の2.30%となっています。（運転席で見ると56.5倍！）※国土交通省HPより

大切な、世界で1つだけの子どもの「命」です。（もちろん我々大人も！）

下校後、学校に自転車で来る児童の中には、ヘルメットをかぶらずに来ている子もまだ多い状況です。10年後には「えっ？ヘルメットかぶらないの？変だよ～」となるでしょう。それまでの間に、自転車事故で大切な命を失うことのないように、ヘルメットの着用について家庭でもご指導をお願いします。

